

課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業
中間評価結果

プログラム名	学術知共創プログラム
課題	B：分断社会の超克
研究テーマ名	偽情報と政治的分断に関する東アジア諸国を中心とした包括的研究
研究代表者	粕谷 祐子
所属機関・部局・職	慶應義塾大学・法学部・教授
総合評価	
A－ 概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である	
評価コメント	
研究発足後に、対象となる東アジア諸国で行われた選挙における、偽情報や政治的分断の問題の深化、さらなるポピュリズムの台頭といった、現実の変化に柔軟に対応し、さらに AI 関連技術の急速な変化や分析手法の発展の中で、ファクトチェックの重要性を明らかにする形で、研究を進めている点は高く評価できる。この方向でのより一層の進展が望まれる。 なお、偽情報と政治的分断のメカニズムや民主主義と情報に関する理論構築に関わる C 班の課題が重要性を増しており、この点については、現実の急激な変化に対応するべく、研究のさらなる進展が期待される。情報発信においては、折角の研究成果が、広く関心を呼ぶ形で公開されていないことが非常に惜まれる。情報の随時更新とともに、研究課題や問題に関心を持つ層に広く、またわかりやすい形で、研究の成果が伝わるように改善されたい。	